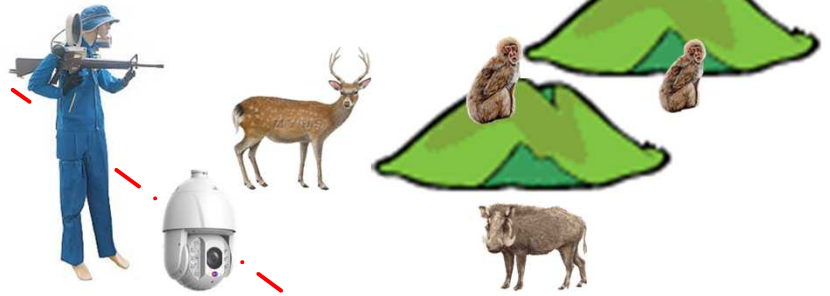




# ゾーニング

(人と野生、それぞれ互いの生活圏を守る線引き)



人の生活圏に近づこうとする野生に対し、忌避行為を行うことで、この先は自分たち野生の生活圏ではないこと、すなわち人の生活圏であることを学習させることを目的とします

## ITを駆使した獣害対策（追い払い）

### 鳥獣被害（獣害）

野生も生きるため必死ですから、早々簡単に追い払うことは出来ません。

単純な忌避行為では、短期間で学習され、その効果を失います。

また、ここは自分の縄張り（えさ場）と野生に認識されているところに人が入り込むと、敵と見なされ襲われることにも繋がります。

その場が、野生あるいは人、そのどちらの生活圏であるかという線引きがとても重要です。

一昔前、獣害が大きく問題にならなかった（滅多と野生を目にする事はなかった）のは、この生活圏の線引きが、人の手できちんと出来ていたことに他なりません。

人口減あるいは高齢化等により、中山間地域の土地活用の低下などから、人の手による生活圏の線引きが出来ていない実態が、獣害の増加に直結したと考えられます。

一方昨今では、増える害獣に駆除という手段が多く執られています。これは対処療法と言わざるを得ません。

いつまでも、いつ出てくるか分からない害獣を、その都度駆除し続けることに他なりません。

すなわち基本的な獣害対策では無いということです。

一昔前に出来ていた線引きが、人が減ることで出来なくなったのであれば、そこはITを活用して、出来ることを増やすという考え方がもっとも今風でしょう。

### ゾーニング

電気柵もとても有効ですが、距離があればあるほど下草刈りなど管理が大変になります。

ITを駆使して行うゾーニングであれば、特段の保守は不要で、現状あるいは設置後の様子など、その場の状況の見える化（効果検証）が出来ます。

また、本来のメリットは、互いの生活圏を守ることが目的ですから、野生も自分たちの生活圏の範囲で（食糧事情の範囲で）安心して生活出来る、すなわち自然保護に繋がることです。

もちろん、人の生活も守られます

このゾーニングの考えの基で、増加が著しいと言われている現状にあっては、線引きした人の生活圏に出てくる野生は駆除することで、状況は落ち着くものと考えられます。

岡山県岡山市中区祇園433-6 〒703-8207

有限会社青電舎

Tel:086-275-5000 Fax:086-275-8898

seiden@po.harenet.ne.jp

[http://www.seidensha-ltd.co.jp/~seiden/jugai\\_robot.html](http://www.seidensha-ltd.co.jp/~seiden/jugai_robot.html)